

ネットなかがわNEWS VOL.13

やっぱり生活って政治！

住所: 那珂川町片縄西4丁目6-7 TEL&FAX: 954-0224 E-mail: nakagawa@fnet.gr.jp

那珂川町議会議員

ふくおか市民政治ネットワーク那珂川

検索

伊藤ともこ



一人ひとりの特性が活かされる社会 ～(株)障がい者つくし更生会から学ぶ～

平成28年4月から「障害者雇用促進法」が改正されました。障がい者の雇用率向上や、働くときの支障を改善するための合理的配慮を新たに義務付け、障がい者の職業の安定を図ることを目的とします。私たちは、障がい者の雇用の実態を学ぶために、福岡県大野城市にある“株式会社障がい者つくし更生会”の見学に行きました。



専務取締役 那波さん

障がい者と共に働ける環境づくりや育成について全国各地で講演会の依頼を受けています。また、昨年は490名の見学者を受け入れ、障がい者雇用の取り組みと理解を広めています。

全国トップレベルの施設運営

障がい者雇用率は、なんと86.5%! 社長を含め39名のうち36名がなんらかの障がいを持つ社員です。ここではリサイクルをするための不燃物ゴミの選別作業を行っています。補助金や給付金などの福祉の助成金はもらわず、仕事の質や業績を上げることで、行政の信頼を得て経営を行っています。全国の廃棄物処理場で破砕処理の施設は600ヶ所ほどあり、事故を起こしていない施設はこの会社のみです。最低年収は230万で、障がい者の平均年収を超えています。



ゴミは全て手作業で分別されています。事故を未然に防ぐために、丁寧に行われており、事故発生ゼロは、社員の誇りと自信に繋がっていると感じました。

仕事に手間を惜しまない

徹底したゴミの分別により、事故を起こさず、コストを大幅に削減するなど、一般企業でも大変な黒字経営を行っています。「最初に手間をかけることで、後から非効率性がなくなる。目先の効率や生産性を追いかけると、後から非効率性が生まれる」と話されていました。



説明は、部署ごとに障がいのある社員が担当しています。明るい笑顔で、わかりやすく説明してくれる姿は、障がいを一切感じさせず、私たちは驚きと感動を受けました。

一人ひとりと向き合い、関係を築く

障がい者と見るのではなく、その人ができることを活かせる部署に配置し、苦手なことは誰かが補佐をして助け合うなど、チームの連携と人間関係を大切にしています。しかし、実際は時間がかかり、うまくいかない事もあったそうです。那波さんは、「自分は福祉の勉強はしていない。障がいのある人と向き合って話すことでわかるようになっていく」と話されていました。

障がいを抱えた人たちは、多くの困難や苦勞から、「自分だけ」と被害的に物事を捉えがちです。しかし、一緒に働く仲間や根気強く向き合ってくれる会社の姿勢に、「自分が認められるようになった」「この会社ですっと働きたい」と、自分の存在意義を見いだすことで、仕事のやりがいや楽しさを取り戻していると感じました。

障がいの有無に関係なく、個々の能力を活かす環境と人間関係を築くことが、人と会社の成長に繋がると感じました。

**誰もが障がいを持つ可能性があります。
「働くこと」について考えてみましょう!**

(株)障がい者つくし更生会が掲載

「人を大切にする経営」

「社員とその家族と大切にする経営」の5社の事例を紹介。

こんな会社があったのかと驚くようなエピソードが満載です。働くことの意味、会社という存在の意味を深く教えてくれる、必読の1冊です。



<参加者の感想>

- 家庭も学校も企業もこの会社のように取り組むことができれば、素敵な社会になるだろうと思いました。
- 健常者の方がマイノリティーな会社。みな笑顔で対応してくれたことが印象的でした。
- 従業員は仕事に誇りを持ち、一生懸命に取り組んでいます。休む人も少なく、離職もなく、障がい者と共に成長していきたいと考えているこの会社は、社会のロールモデルです。